

議会だより

やまと

# 山都

第20号

熊本県山都町議会

2016.5



## 楽しい1日



### 主な内容

一般会計予算…………… 2  
 予算についての質疑…4～6  
 一般質問……………7～11

特集 変わる!!  
 行政と住民自治組織…12  
 補正予算…………… 14



# 3月定例会

3月定例会は、3月3日に開会し、18日に閉会しました。平成28年度一般会計予算をはじめ条例の制定や改正など42件の議案について審議しました。

## 平成28年度一般会計予算

平成28年度一般会計予算は総額123億3,000万円です。特別会計予算の約80億円を合わせると、200億円を超える金額です。全体的には社会保障費が大きな金額を占め、一般会計の民生費と国民健康保険、後期高齢者保険、介護保険などの医療費にかかる特別会計を合わせると約100億円となります。各常任委員会ごとに審議の内容をお知らせします。

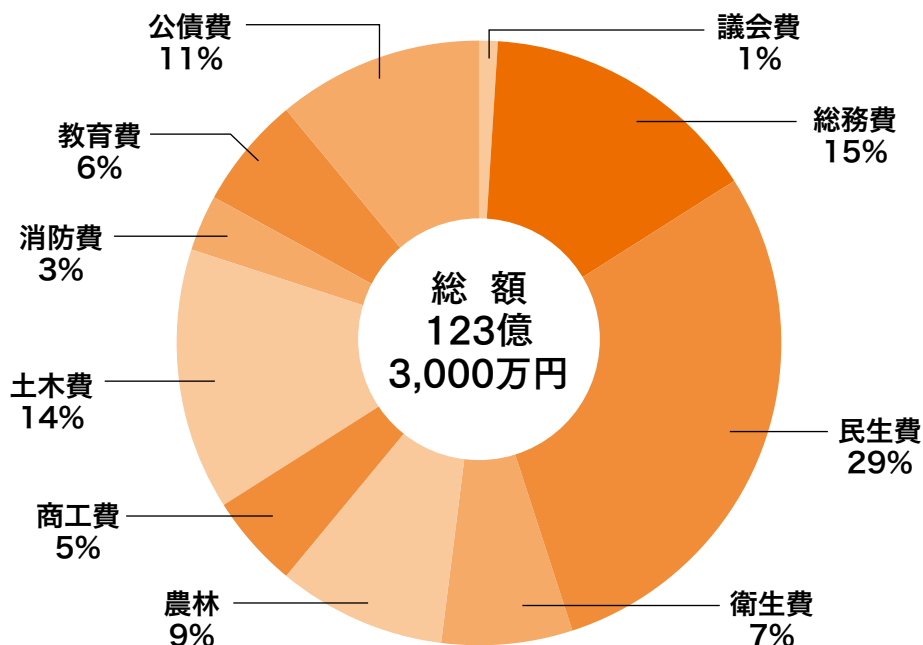
### 【平成28年度一般会計予算】

項目	金額	昨年度比
議会費	9,258万円	▲1,105万円
総務費	183,350万円	9,379万円
民生費	352,547万円	31,181万円
衛生費	93,441万円	▲4,546万円
農林費	117,521万円	▲9,107万円
商工費	56,820万円	23,050万円
土木費	175,420万円	▲9,591万円
消防費	40,928万円	▲1,717万円
教育費	68,901万円	7,978万円
災害復旧費	377万円	▲79万円
公債費	131,378万円	▲12,441万円
諸支出	59万円	0
予備費	3,000万円	0
<b>総額</b>	<b>123億3,000万円</b>	<b>3億3,000万</b>

### 【平成28年度特別会計予算】

項目	金額
国民健康保険特別会計	32億4,313万円
後期高齢者医療特別会計	2億2,775万円
介護保険特別会計	26億7,466万円
国民宿舎特別会計	7,339万円
住宅新築金等貸付事業特別会計	586万円
簡易水道特別会計	6億5,029万円
水道事業会計	8,178万円
病院事業会計	10億5,921万円
<b>総額</b>	<b>80億1,607万円</b>

### 平成28年度一般会計予算 総額123億3,000万円



# 平成28年度一般会計予算総額は、123億3,000万円。

## 【一般会計予算の主なもの】

費目	事業名	金額	説明
総務費	町有建物解体工事費	1,400万円	子育て支援住宅敷地を確保するため旧浜町事務所を解体する
	光情報通信基盤整備事業補助金	2億500万円	総額6億5,300万円の一部 H30年までに整備予定
	コミュニティバス委託料	1億3,600万円	今年度は業者委託選定の年
児童福祉費	統合保育園建設費	2億4,000万円	本体工事費2億88万円 その他監理委託料、解体工事、外構工事
	私立保育園助成金	3億円	町内5私立保育園へ助成
社会福祉費	社会福祉協議会助成金	3,315万円	
	不妊治療助成金	50万円	1回につき5万円の助成 ※所得制限なし
農業費	日本型直接支払事業	5億8,311万円	中山間:3億3,200万円 多面的:2億2,714万円 環境保全型:1,700万円
	有害獣捕獲隊助成金	4,955万円	イノシシ、シカ:1万円 サル:3万円
商工振興費	文化交流拠点施設整備関連	1億2,834万円	本体工事:9,985万円 その他監理委託料、解体工事、外構工事
	文化拠点施設企画業務委託料	950万円	展示物情報作成委託
	八朔祭大造り物小屋整備	919万円	下市連合
		930万円	仲町上連合
	観光施設管理委託料	8,000万円	道の駅、キャンプ場などの委託料
	ふるさと寄付金管理業務委託料	1,000万円	ふるさと寄付金に関する事務作業の委託料
土木費	社会資本整備総合交付金事業	6億9,284万円	道路改良(長谷線他10路線) 舗装維持管理、道路防災維持管理、 橋梁補修・点検、トンネル維持管理計画
教育施設費	廃校施設解体工事	380万円	旧下矢部東部小プール解体工事
	町営グラウンドゴルフ場整備費	1億1,975万円	町営グラウンドに併設し、協会公認コースを3面整備予定

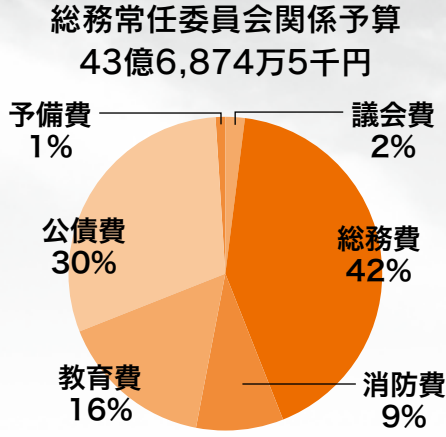
一般会計予算についてのQ&A

《総務費》

**問** (中村) コミュニティバス事業者の選考について、透明性の確保は。

**答** (企画政策課長) コミュニティバス事業者は公募する。運行に関しては、総合的な判断が必要であり、選考委員についても慎重に選定する。選考の経過を丁寧に説明し、総務常任委員会にも説明していく。

**問** (後藤) バス停まで出ることでできない高齢者もいるし、部



活の移動手段としての役割もある。矢部地区ではタクシー会社が介護タクシーを運行させている。このような方策も必要ではないか。

**答** (企画政策課長) 単純に路線を減らすことではないと思っっている。公共交通の部分と福祉対策は少し分けて考える必要がある。

**問** (藤澤) 清和高原野菜市場は売却のための不動産鑑定額が予算化されたが、他の利用は考えられなかったか。

**答** (総務課長) 将来的な利活用が見込めなかったため売却する。いくつかの問い合わせもあったが、町が関与する際には公共性が必要となるため今回の判断である。

**問** (赤星) 光通信基盤整備事業は、前倒しできないか。

**答** (企画政策課長) 予定より早い工事進行状況であり、約一年前倒しの予定。

**問** (赤星) 地域おこし協力隊の現状と今後は。

**答** (企画政策課長) 菅地区で2名の協力隊員が活動している。内1名は9月で満了となっている。

が、定住を目指してサポートしていく。今後も協力隊の拡充を目指したい。

《教育費》

**問** (後藤) グラウンドゴルフ場の整備については、公認コースを作り郡体レベルの大会を誘致したいとの説明だが、駐車場やトイレの不足があるのでは。

**答** (町長) 整備予定地は、町有地であり購入当時「ふれあいの里」構想があった土地である。町民の健康と福祉に関する施設を集合させる予定だったと聞いています。駐車場については周辺の土地



▲ グラウンドゴルフ場設置予定地

もあり心配ないと思う。トイレの整備は必要数などを検討し、早い時期に提案する。

**問** (工藤) グラウンドゴルフ場整備の決定までの経緯は。

**答** (生涯学習課長) 平成22年から町議会でもグラウンドゴルフ場の建設について質問を受けており、役場関係各課で会議を重ねた。用地については「ふれあいの里」構想の土地の有効利用につながるかと判断した。

**問** (工藤) 建設経費について、補助金や合併特例債などは考えなかったのか。

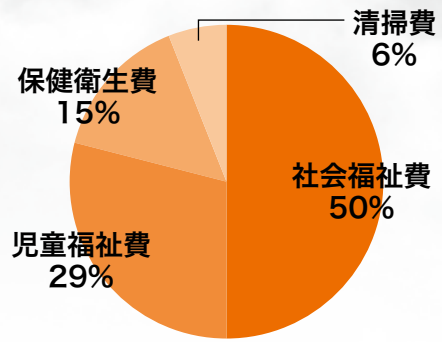
**答** (総務課長) 今年度は、保育園や文化拠点施設の建設もあり、起債の総額を考えると難しかった。今回は公共施設整備基金を1億円取り崩す判断をした。

**問** (藤澤) そよ風パークは、芝地でトイレも完備されている。パークの利用促進のためにも、ここを利用する方が良いのでは。

**答** (町長) そよ風パークは町民グラウンドとして活用できていると思う。建設予定地である町有地は、長年利活用が進んでおらず、その利活用として悪い選択ではないと思っっている。



厚生常任委員会関係予算  
44億5,988万円



《民生費》

問 (赤星) 社協への助成金は3千万円。その他、事業の委託費等を合計するとどのくらいか。

答 (健康福祉課長) 合計すると1億42万円となる。

問 (工藤) 社協の本来の仕事は何か考えてもらいたい。委託の内容を精査する必要があるのでは。

答 (健康福祉課長) 社協には予防事業に取り組んで欲しいと思っている。委託事業については精査する。

問 (藤澤) 老人クラブへの助成の基準と、老人クラブの千寿苑の利用頻度は。



▲ 統合保育園のイメージ

答 (健康福祉課長) 助成金は一人当たり1,000円、33,000円を59団体へ助成している。演芸大会など人数の多い行事はほとんど千寿苑を利用している。その他会議等は高齢者センターを利用。

問 (江藤) 保育業務委託料が増額になった説明を。

答 (健康福祉課長) 土曜保育は一部で取り組んでいたが、今後全保育園で実施するに当たって保育士、調理師の派遣を依頼するため。

問 (吉川) 統合保育園の設計は、病後児保育と調理場が近く衛生的な問題が心配だ。設計に現場の職員は関わったのか。病後児受け入れが3名というのは少ないと思うが。

答 (健康福祉課長) 感染については心配ない設計であると感じてほしい。また、病後児の受け入れは、近隣自治体で1日4名程度であるので、同程度でスタートしたい。同じ病気であれば10名程度の受け入れが可能と考えている。

《衛生費》

問 (中村) 浦川の四万十川方式浄化装置の状況は。

答 (環境水道課長) 年4回の水質調査を実施している。いずれも国の基準を大きく下回っており、効果を上げていると思われる。

問 (稲葉) 合併浄化槽の面的整備(集落単位で設置)が進まない。要綱の見直しが必要では。

答 (環境水道課長) 浄化槽設置の補助金申請は、減少傾向にある。面的整備については、平成24年度から0件。今後、設置を推進していくためにも、取り組みやすい制度を考えていきたい。

問 (稲葉) 演習場の塵芥し尿処理は、懸案事項である。国への要望は。

答 (町長) 町内施設の老朽化もあり、塵芥処理にかかる予算も大きな負担となっている。広域処理の計画もあるが、前倒しの対策として郡内他町との連携も模索する一方で防衛関係補助制度も検討していきたい。

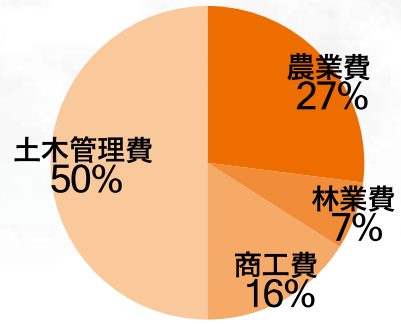
問 (藤澤) 町の最終処分場の購入は完了したか。

答 (環境水道課長) 8割近くが完了した。

問 (田上) 町のゴミ処理施設や火葬施設は老朽化が進んでいる。広域塵芥処理施設が完成するまで使用可能なのか。

答 (環境水道課長) 広域処理施設ができるまで10年かかる見込みである。それまで使用に耐え得るように管理していく。

建設経済常任委員会関係予算  
35億137万5千円



《農林費》

問 (赤星) 緑の少年団の活動現状は。

答 (農林振興課長) 緑の少年団は、御岳・中島・蘇陽に新たに清和小学が加わった。郡の植樹祭への参加や各小学校での環境学習に役立っている。

問 (赤星) 自然観察会と連動した取り組みについてはどうか。

答 (教育長) 地域の中で体験活動をするのは大切だ。教育委員会の立場からも協力したい。

問 (中村) 町内の桜の木が、テングス病に冒されている。対策は。

答 (農林振興課長) 桜の品種を確認したり、樹木医と相談し

たりして対策を進める。

問 (藤原) 中山間地域直接支払制度の予算が減額となっている理由は。

答 (農林振興課長) 制度は、5年ごとの見直しで、現在4期目。高齢化により、次の5年間農地を守る事ができるのかという不安が、面積の拡大を鈍らせているのではないかと。

問 (田上) 農業委員会が農林振興課に属する形だが、農業委員会への支援体制は。

答 (農業委員会局長) 本庁に2名、清和と蘇陽支所内の農林建設課にそれぞれ1名の4名体制で仕事に当たる。月1回の定例会を清和支所で開催している。

《商工費》

問 (後藤) ふるさと寄付金業務委託の内容は。

答 (山の都創造課長) これまで課内でやってきた寄付金に対する返礼の発送作業やクレーム対応を、専門業者に委託した。今後は仕事の内容を勉強しながら町内における雇用の場を創出する方向で考える。

問 (後藤) ふるさと寄付金は、

その額が目的ではないだろう。返礼として送る特産品が町の振興につながる事が大切だと思うが、今後の取り組みの方向性は。

答 (山の都創造課長) ふるさと納税の制度がある以上積極的に利用していくことは大事だ。返礼については優れたものを発信し、今後も町の振興につなげていく。

問 (飯星) 文化交流拠点施設の企画業務委託料についての説明を。

答 (山の都創造課長) 観光拠点施設となることから、浜町の歴史と町の祭りや文化財のパネル作成等、わかりやすい文章にして効果的に展示するために外部に業務委託する。

問 (飯星) 文化拠点施設の維持管理の担い手は。

答 (山の都創造課長) 街中の施設なので、商工会、観光協会、中心市街地活性化協会などと話をしていく。ガイド、事務職など2名は必要。また光熱費等は他の施設の例を見ると200万ぐらいと思われる。人件費を合わせると500万円ぐらいが必要となるだろう。



▲文化交流拠点施設のイメージ





飯星 幹治 議員

## 集落営農は農地の維持管理だけでなく、農産物の販路拡大と雇用の創出だと考えるが。

**答** 最終的には、販売雇用を目指していきたい。

**問** 人口減、高齢化の進む中、農業を守るためには集団で立ち向かうしかない。町から集落営農対策として300万円が計上されているが、十分な額ではないのでは。現状の報告を。

**答** (農林振興課長) 県の補助を受けて協業組合に発展している一の瀬地区や町の補助で活動している地区が8地区あり、今後法人化や経理の一元化に向けた動きも出ている。町や県、JAなどの指導員7名体制で指導に当たっている。

**問** 7名での指導体制と言うが、地元の現場職員こそ地域に密着した「お節介」的な相談に当たることが必要だと思うが。

**答** (農林振興課長) 現場職員が積極的に関わることは大切と思っている。

**問** 町長の提案理由の説明の中に、米主体の農業から地域特産作物への転換を図るというのがあった。具体的な方向は。

**答** (農林振興課長) 平成29年度で米の生産調整が終了する。米価の国際競争力が低下する中、転換作物については検討中である。トマトを中心とした高収益型の農業や、果樹についての検討も必要。米については、現在栽培されている品種の推奨や、酒米の生産を検討中である。



集落営農についての話し合い

**問** 集落営農を進める時に大事なものは、単に農地の維持管理に止まらず、農産物を販売し雇用を生み出す仕組みを作り出すことと思っている。その点、下矢部東部や御岳地区は国道沿いであり可能性があると思う。山都町の有機野菜のファンは多いが、売る場所がないのが課題点と思う。現在道の駅等での売り上げは。

**答** (農林振興課長) 町内の道の駅など6ヶ所で9,745万円の売り上げである。

**問** 産直店はじめ、国道沿いに目立つものを作る必要があるのでは。九州中央道の北中島開通がある。早期に阿蘇公園線の開通も実現し遊べる場、雇用の場を創出するべきと考えるが。

**答** (町長) 企業誘致などは急に進まない

が、集落営農に関しては、最終的に販売、雇用を目指せるように協力していきたい。

**問** 集落営農について、女性の意見は反映されているのか。

**答** (農林振興課長) 会議や研修など女性の参加率は高い。加工所などは女性が原動力となるので欠かせないと思っている。

**問** 今予算で、旧浜町会館を解体し、一億円かけて新しい文化拠点を作る計画だが、新しい行動に移る前に町民に謝るべきでは。

**答** (町長) 空き家を一億円で買ったわけではないし、前町長の意向では建物を生かすという方針であった。その後新築を含めて再検討となっていた経緯を知ってほしい

## 統合保育園の名称は公募となった。 その対象と検討委員会の構成員は。

**答** 対象は山都町住民。検討委員は学識経験者や保護者を予定。



吉川 美加 議員

**問** 学校教諭補助の嘱託職員の賃金が切り下げられたことについての説明を。

**答** (学校教育課長) 学校教諭補助の賃金

**問** やまトークが三巡目を終えようとしている。集計を見ると初年度から254名の減少となっている。この結果をどう捉えるか。

**答** (町長) 広範囲に広がる本町の課題を見出すために、町民と親しく直接話ができる貴重な時間と考えている。必要性の高さを考えていくつか施策に反映させてきた。

**問** 進級進学の時期待だが、特に中学校の制服や体育服の購入は負担が大きい。義務教育の間は町が負担

**答** (学校教育課長) 子どもの学力保障、進路保障を支えるために教員免許は必要だと思っている。今後教員補助の協力が必要である。複式学級は上益城郡では山都町のみとなった。他の町村との単純な比較はできないと考える。

**問** 支援センターについては、現在

**答** (健康福祉課長) 国県からの補助が約200万、利用者数によって加算金がある。支援センターと保育所が併設になることで職員の効率化を図り運営を合理化していく。対象は6ヶ月から小学3年生で一日3名程度を受け入れる。



子育て支援センターで遊ぶ子どもたち

**問** 本町の教員補助は教員免許を持っているが、そのことを誇りに教育水準のアップにつなげてはどうか。

**問** 病後児保育の経営見通しは。

**答** (健康福祉課長) 必要ない家庭については、就学助成をしている。学校によってはPTAなどが、制服などをリサイクルしているところもあり、民間の力も借りながら対策を考えたい。

**問** 場所が適切と思われるが。

**答** (健康福祉課長) 子育て支援の業務はこれから同様に行っていくので影響はないと考える。保健師の赤ちゃん訪問の際に子育て支援センター職員が同行し、初めての子育て相談等に当たることがより重要な仕事になると考えている。

**問** 保育園の名称は公募と言うことになったが、その対象と選定委員会の構成は。

**答** 公募は山都町住民へ向けて実施する。選定委員は、学識経験者や保護者などで構成する予定。

**問** 蘇陽分館は、蘇陽総合支所に移転する予定だが、進捗状況は。

**答** (生涯学習課長) 二年間に渡り図書館協議会で検討を続けてきた。アンケートの結果をふまえた答申は、蘇陽地区の中央にあり役場、社協、森林組合が共存し、コミュニティバスの発着所でもあることから総合的に利便性が高まるとの見通しで、平成28年度中に移転するという内容だ。





中村 益行 議員

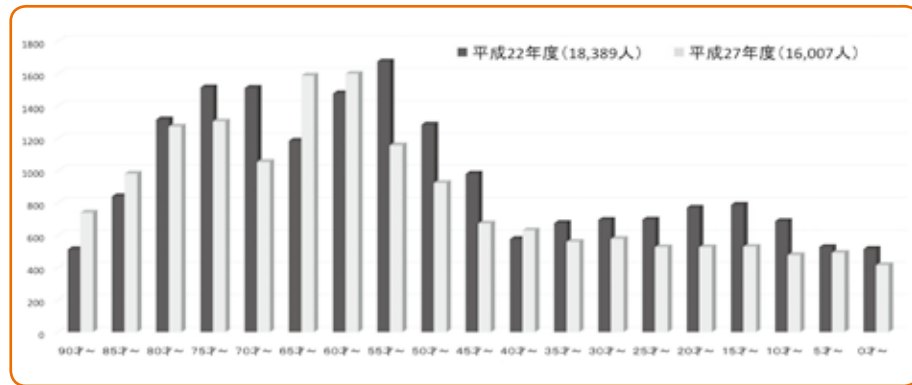
## 保育料無料化についての考えは。

**答** 財源が4,000万円かかる。永続的な事業となると、安定した財源の確保が必要だ。

**問** 地方創生総合戦略の基礎になっている第2次総合計画の各章の「カクゴ」の定義について改めて問う。

**答** (企画政策課長) 基本方針の五つの柱を立てた。急激な人口減少をふまえて、厳しく立ち向かう意思を込めた。

**問** 地方創生は、国から地方へ、都会から農村へという視点になっている。総合戦略は国からの押しつけではなく、本町に見合った



平成22年と平成27年の人口比較

もの考える必要があると思うが。どう考えているか。

**答** (企画政策課長) 地方創生の考えは、東京の一極集中を地方に分散したい考えだが、地方といっても中核都市にしか目が

向いていないと感じている。しかし、地方創生の機会をチャンスとして、主体性を見失わないようにやっていきたい。

**答** (町長) 過疎対策・山村振興事業は以前からやってきたこと、今更という感はある。様々な地方創生関連の交付金はあるので、総合計画に則ってやっていく。

**問** 九州中央道と光通信は、今後の町づくりはどう盛り込まれるのか。(※)スマートインターチェンジについての設置は考えているのか。

**答** (企画政策課長) 高速が開通することは、定住や経済活動の促進に有効となり、山の都づくりの中心になると考えている。スマートインターチェンジの設置は町負担になるが考えていき

たい。光通信は、起業、創業のきっかけ作りになると思っている。

**問** 子育て世代に一番魅力ある政策は保育料の無料化だ。無料にするにはどのくらいかかるのか。

**答** (健康福祉課長) 約4,000万円である。

**問** 議員報酬を削ってもやるべきだと思っているが、執行部の考えは。

**答** (総務課長) 地方創生やふるさと納税基金のような一時的な財源ではなく、永続的な事業となると安定した財源が必要だ。

**答** (町長) ただ単に子どもが増えればいいということではない。移住定住などを総合的に考えて町の維持存続について本気で考えていく。

**問** 統合保育所の図

面を見て、中庭が狭いと感じる。

**答** (健康福祉課長) 中庭は0歳から3歳児を対象としており、現在の園舎跡が広い運動場となる。

**問** 清和地区に建設予定の最終処分場は環境アセスもやってきた。広域処理場の供用には10年以上かかるだろう。町の最終処分場と広域ゴミ処理場との関連性は。

**答** (環境水道課長) 広域ゴミ処理場については、各町から最終処分場を一カ所以上候補地としてあげなければならず、その候補地として関連性がある。

※スマートインターチェンジとは、高速道路へ接続するためのETC専用通過口である。

# 1億円で購入した浜町会館跡地を取り壊し、新たな事業を展開することを町民に説明するべきではないか。

**答** 町民に対し説明が不足していたことは反省している。



江藤 強 議員

**問** 本町は大矢野原演習場があることをメリットに町づくりをすると言うが、国への働きかけは。また専任の職員を置くという公約は。

**答** (町長) 周辺住民への負担は助成事業で対応しているところだが、演習場があることで経済効果が望めるよう要望活動は行っている。専任職員は職員数が十分でない事情もあり、もう少し時間が欲しい。

**問** 区長制度の見直しについて、目的と以前の相違点のわかりやすい説明を。

**答** (総務課長) ①自治振興区の組織に区長部を設け、地域活動の中心的役割を位置づける。②公務員の身分を与えず、行政と対等な関係を位置づける。③報酬は直接支払うのではなく、自治振興区への交付金の中で支払われる。④区長の負担となっていた月2回の配布物を月1回にすること等である。

**問** 区長制度の見直しより先に自治振興区の設置条例等の条件整備が必要ではないのか。

**答** (総務課長) 自治振興区の条例整備は必要と思っているが、自主自立的組織である自治振興区の条例を作ることには慎重に進めざるを得ない。継続的に審議していく。



解体される旧浜町会館

**問** 来年度から人事評価制度が導入されるが、今までのものと相違点と、今後の活用の仕方について。

**答** (総務課長) 法的に義務づけされた。目標管理型の制度を導入する予定で、個人

**問** 浜町会館跡地を取り壊し、新たな文化拠点施設の建設が決まった。議会も認めたところだが、町民感情として1億円で購入したものを壊して更に大きな予算をかけることについての説明が必要ではないか。

人の目標を立て、その実績評価を自身と上司が行い、この評価に基づいて人員配置や給与等に反映させていく。

**問** 評価者の資質については。

**答** (総務課長) 評価者の訓練等は定期的を実施することが重要だと思っている。クレーム対応の部分も併せて考える。

**問** 政治家が私事でマスコミを賑わしているが、町長は政治家としての姿勢をどう考えるか。目指す政治家像は。

**答** (町長) 政治家と云うのは、人格高潔なことが求められるだろう。目指す政治家像は、高橋是清の言葉「政治は人物の問題である」の中にある。

**答** (企画政策課長) 正当な購入だったと言える。時間の経過とともに利活用に変化が出てきた。

**答** (山の都創造課長) 建物の再利用を進めるといふ指示だったが、変化してきた。そのことの説明が足りなかったのは反省している。

**答** (町長) 町民に対しての説明が不足していたことについて反省している。





稲葉 富人 議員

## 阿蘇公園線の整備が急がれるが、町長の認識は。

**答** 南阿蘇村と協同して要望していく。町の人口増に有効な道だと認識している。

**問** 町長が就任時に掲げた、農林振興、観光振興、防災減災の町づくりの三本柱だが、これらを踏まえた総合計画のカクゴとは。

**答** (町長)町の総合計画が最上位計画であり、計画の五つの柱に従いながら、集落営農や子育て環境の整備など本気で取り組むカクゴである。

**問** 人事評価制度が導入される。人が人を評価することで様々な心配があると思うが、この制度が職員や町のためになるのかを問う。

**答** (副町長)目標を立てて仕事に取り組むことを評価することで、職員の仕事の進捗状況もわかり、分析することで行政サービスの向上につながるかと考える。職員を評価する側の管理職の研修を重ねて、不安を払拭したい。

**問** 国勢調査の速報値が出た。人口減は深刻な状況だ。今後の財政の見通しは。

**答** (総務課長)この5年で1,817人減少となり、当然税収が減る。地方交付税も3億7,500万円の減収になる見込みだ。今後はメリハリのある予算編成が必要だ。

**問** 町が支出している各種助成金や交付金についての見直しは。

**答** (総務課長)目的を達成した事業などは統廃合を進め、補助金の要綱などを整備し適切な財政運営を心がける。

**問** 徴税業務が業績を上げているようだ。一方公金の滞納は大きい。さらに徴税率を上げるために、専門部署を作る考えはないか。

**答** (総務課長)施設使用料や保育料などの公金の徴収に関しては担当各課で対応しているが、情報を一元化し取り組むことが大切だ。

**問** 今後の町の振興のためにも、阿蘇公園線の整備が急がれる。町長の認識は。

**答** (町長)今までは山都町側からの訴えであったが、南阿蘇村が、立野ダムと一緒に公園線の要望もやっていた。俵山トンネルの例もあるように、町の人口増に有効な道



矢部阿蘇公園線開通を呼びかける看板

であるとは認識している。

**問** 町道について、長年に渡る工事をやっている路線がある。(瀬戸福良線・大川大矢線・馬見原線など)中には40年もやっている。費用対効果が見えない。

**答** (建設課長)それぞれ旧町村時代からの工事である。道整備交付金等を利用して整備を続けているが、財政の許す限り早期に整備したい。

**問** 長くかかるのは、財政の問題なのか。前倒してやってほしい。

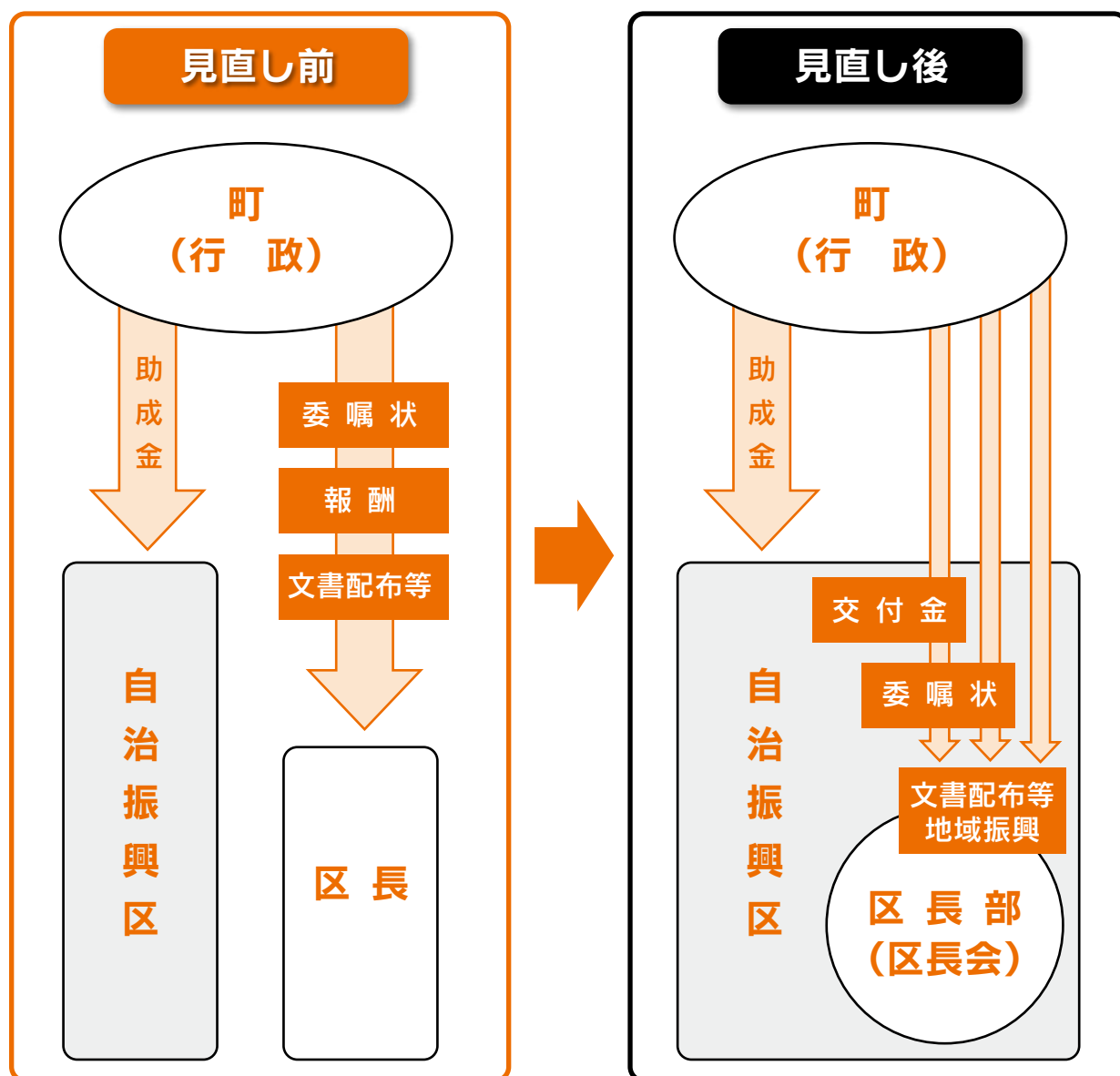
**答** (町長)本来10年ぐらいで費用対効果が出なくてはならないと思っている。起債等も視野に入れながら計画的にやっていく。

# 特集 変わる!! 行政と住民自治組織 (自治振興区・区長)の関わり方

今議会で、かなり議論されたのが住民自治組織の関わり方の再編についてでした。住民にとって一番身近な問題であり再編された点について報告します。

大きく変わる点は、区長委嘱制度の見直しにより「地方公務員としての地位を付与しない」が、行政事務連絡員としての委嘱状の交付により、今後も区長に依頼していた事務や行政の補完的役割は継続していきます。また、自治振興区の中に「区長部」を創設し、そこに交付金という形で「地域振興・活性化」へ向けた活動及び区長へ依頼する経費として交付します。

その他いくつか変更した点がありますので、イメージ図と新旧対照表を参照ください。



行政と住民自治組織との関わり合いについては、今後も不断の見直しを進め、住民自治基本条例の整備を目指していくとのことでした。



## 見直しに関する新旧対照表

	旧	新
自治振興区と区長区の役割	<p><b>区長区・・・</b> 住民にとってもっとも身近な自治組織で、その代表である区長は集落住民の意見の集約や行政への提案を行うなど「住民自治の根幹」ともいえる役割を担っています。</p> <p><b>自治振興区・・・</b> 区長区単位(一集落)では解決できない課題や広域的な地域づくり等の取り組みなど「地域全体を挙げて」活動する自治組織です。</p>	<p>「区長部」または「区長会」といった組織を自治振興区の構成組織として設けてもらいます。区長は集落の代表者として、<b>住民自治や地域振興において中心的役割を担って</b>もらいます。</p>
自治振興区会長と区長の兼務	可能です。	※ 現行に同じ
区長の身分	<p>委嘱状を交付しています。身分は「<b>地方公務員</b>」です。</p> <p>区長としての活動は<b>公務災害補償の対象</b>となります。</p> <p>政治的行為(選挙)の制限など<b>身分上の制限があります</b>。</p>	<p>委嘱状を交付しますが、身分は「<b>地方公務員</b>」ではありません。</p> <p>自治会活動として区長が行った活動は<b>自治会活動保険の適用対象</b>となります。</p> <p>政治的行為(選挙)の制限など<b>身分上の制限はありません</b>。</p>
区長報酬	区長個人へ <b>直接</b> 支払います。	行政協力に対する対価及び地域づくり活動費用として、「 <b>区長部</b> 」または「 <b>区長会</b> 」といった組織へ <b>交付金</b> を支払います。
算定方法	区長区ごとに基本割(定額)と世帯割により算定します。	自治振興区ごとに基本割(世帯数に応じた <b>傾斜配分</b> )と世帯割により算定します。
町の広報誌等の配布	月に2回、区長宅に <b>配送</b> します。	月に1回、区長宅に <b>郵送</b> します。
区長区の統廃合	<p>各地域または各集落での協議により進めていただきますが、町としても助言を継続して行います。</p> <p>※自治振興区助成金における区長区統合加算措置 1区減少につき3万円×5年間</p>	※ 現行に同じ

## 平成27年度補正予算

平成27年度補正予算は3億9,900万円を追加し、一般会計予算の総額を、131億6,340万円としました。主な内容と質疑は次のとおりです。

### 平成27年度補正予算概要

費目	事業名	金額	説明
庁舎管理費	役場北側駐車場用地購入	179万円	本庁北側駐車場拡張のため
情報費	情報セキュリティ強化対策	2,104万円	個人番号導入に伴う認証システム強化 専用パソコン40台分
農政費	担い手確保・経営強化支援	9,158万円	農業用機械・ハウス補助
林業費	有害獣捕獲対策	3,912万円	イノシシ4,000頭 シカ1,500頭見込み
商工費	ふるさと納税関係費	3,429万円	H27年度寄付見込み 12,700万円
土木費	防衛周辺整備事業	2,972万円	鍛冶床線改良工事

## 地方創生加速化交付金

平成26年度から始まった地方創生に関する交付金で、各自治体の取組について先駆性を高め、レベルアップの加速化を図るために、国が1,000億円の補正予算を計上しました。地方自治体の自主的・主体的な取り組みを応援するものです。今回の補正予算までは国の100%交付となっています。

※ 本町は現在以下の事業を申請中ですが、決定額ではありません。

費目	事業名	金額	説明
企画費	かーちゃんサミット開催	290万円	H28年6月25日・26日開催予定 蘇陽支所会場他(150名を予定)
農政費	農産物ブランド化推進事業	1,300万円	販路拡大アドバイザー委託 市場調査、ポスター・パンフレット作成
商工費	地域仕事センター事業他	1,605万円	空き家バンクと仕事センターを関連づける事業 の推進 食農観光塾継続事業
	短期滞在者施設改修	500万円	短期滞在者施設改修
矢部高応援事業費	矢部高応援関係	1,049万円	応援町民会議の継続 矢部高魅力発信事業 山の都塾開設事業



平成27年度補正予算Q&A

**問** (藤原) 北側駐車場用地購入は14台分ということだが、本当に必要なのか。

**答** (総務課長) イベントや会議等が重なるときに駐車場が慢性的に不足する。14台分とはいえ確保したい。

**問** (藤澤) 庁舎関連工事は完了したはずだが、今回の用地購入の経過は。

**答** (総務課長) 庁舎駐車場用地として当時から予定していた場所である。地権者と継続して交渉していたが、この度了承を得たところである。



購入予定の駐車場用地

**問** (後藤) 今回の加速化交付金は、委託事業が多いと感じる。業者に委託する前に各課で議論ができてくるのか。

**答** (企画政策課長) 昨年の先行型の事業を更に進めるために加速化交付金を申請している。町民の理解が深まるように有効に活用していきたい。

**答** (山の都創造課長) 矢部高関連委託事業は、矢部高の良さを積極的に外向けにアピールをするためのノウハウを外部に委託する。

**問** (江藤) 昨年地方創生先行型交付金で実施した食農観光塾だが、その成果は。今回の加速化事業につながっているのか。

**答** (山の都創造課長) 塾生は24名だった。5回の研修をした。目標は食と農業と観光の視点を結びつけることだったが、まだ結果は出なかった。今回第2期生を募集しながら、塾生の起業につながるものになりたい。

**問** (藤澤) TPP対策として、認定農業者に対する補助金があ

るが、周知は足りていたのか。

**答** (農林振興課長) 補助金の周知は、対象者である認定農家には通知を行い、数日防災無線でも流したところだが、漏れがあったとすれば更に情報の提供の方法について考えていく。

**問** (吉川) ふるさと寄付金の返礼品はどのようなものが人気なのか。

**答** (山の都創造課長) 1万円の寄付金に対し3,000円から4,000円ぐらいのものを送っている。米や肉の農産品が人気である。

**問** (吉川) 加速化交付金で実施予定の「カーちゃんサミット」についての説明を。

**答** (企画政策課長) 地方創生において女性の活躍は欠かせないものであり、九州で活躍している女性の意見交換をする場として「カーちゃんサミット」を誘致した。6月25、26日を予定している。

**問** (藤原) 農産物ブランド化という場合、有機農産物に特化しているようだ。有機農家以外についてはどう対応するのか。

**答** (農林振興課長) 有機農産物に限らず、全町的な農産物の掘

り起こしをする。併せて地域に残る貴重な素材、セリ、ヒトモジ、ヤマグリなどを商品化することも考えている。

**問** (藤原) 今回の加速化交付金は国の100%補助だが、今後は割合も減っていくだろう。町の対応をどのように考えるのか。

**答** (副町長) 交付金を当てる考え方は行き詰まる。交付金は立ち上がり経費と考えるべきで、基本ができれば自助努力で進めることが肝心だ。

**問** (後藤) 山の都塾の説明を。

**答** (町長) 矢部高の入学者が減少していることは、町全体の課題であり、今までも様々な支援をしてきた。町民会議の中から出てきたのが公設「山の都塾」である。町の将来を担う子ども達がふるさとを知り、ふるさとを誇りに思う心を育てるために、地域の人材を活用して未来創造塾を開く予定。矢部・清和・蘇陽の3会場で月一回の開催を目指したい。矢部高生のみならず小中学生など若い人達も対象とする。

## 老人ホーム浜美荘、民営化へ移行

町営老人ホーム浜美荘は、平成29年度から社会福祉法人による運営を目指して動き出しました。民営化へのスケジュールは以下のとおりです。法人の選定については公募とし、学識経験者、入所者家族等、福祉関係者などで構成する選定委員会を設置して決定します。入所者には、昨年9月に通知や説明を終えています。今後も町からの丁寧な説明が求められます。



▲ 民営化される予定の浜美荘の外観

### 今後のスケジュール

#### 平成28年

- 5月末 公募の締め切り・第1回選定委員会
- 6月～7月 第2回選定委員会
- 12月 定例議会で運営移管について提案

#### 平成29年

- 1月～3月 移管に係る手続
- 4月 移管法人による運営開始

## 議決事項の賛否

○:賛成 ●:反対 欠:欠席 /:採決なし

議案番号	議 件 名	議 決 年 月 日	採 決 結 果	吉川	藤原	飯星	後藤	藤澤	赤星	江藤	工藤	藤川	稲葉	田上	中村	佐藤
議案第10号	山都町行政区設置条例の制定	H28.3. 9	原案可決	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	●	○	●
議案第15号	平成27年度一般会計補正予算	H28.3.10	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	山都町一般会計予算	H28.3.15	原案可決	●	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護員候補者の推薦	H28.3.18	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 次の定例会は、6月の予定です。傍聴にお越しく下さい。

※詳しい日程等については、議会事務局までお問い合わせください。(☎72-1289)



### 編集後記

3月定例会は議案数が多いため会期も長い。なかでも、いつにもまして当初予算での質疑に相当時間が費やされた。自身も含めて各議員は質問事項について整理しておくべきである。そうすれば、議事が整然と進行していくのではないかと。また、執行部においても質問のポイントを抑えた答弁を期待したい。(わけのわからぬ質問もあるが！)

発行責任者 議長 中村一喜男  
議会広報委員会  
委員長 吉川 美加  
副委員長 後藤 壽廣  
委員 江藤 強  
委員 飯星 幹治

えられるが、議案審議の時にぜひ来て頂きたい。もちろん各議案、しっかりと審議して、るところを見て頂きたいが、ほかにも各議員や執行部の質問が見て取れる。ぜひ、議会へ。(江藤強)